



Kazé



ルヴァン便り No.10
2018.6

西村伊作とその子供たち

軽井沢での暮らし 伊作の初期作品

西村伊作は大正デモクラシー期を代表する文化人の一人です。彼は大石誠之助と日本人の生活近代化に取り組み、生活の改善や教育・住宅の改革を説き、当時の人々から熱い支持を集めました。伊作の叔父の大石誠之助は明治末期の大逆事件で処刑された医師で、本年、故郷の新宮市の名誉市民となり注目されました。

伊作には9人の子供がいます。長女アヤが中学にあがるのを期に、彼女の通うのにふさわしい学校が必要と考え、1920年夏に与謝野鉄幹・晶子夫妻らと軽井沢、沓掛で相談し、翌年東京駿河台に文化学院を創立し、自由に伸び伸びとした教育を実践しました。

留学が珍しい戦前は、今とは困難の度合いが全く違う状況でしたが、子供たちは、伊作の勧めもあり、独自の考えで海外に向かったのです。

一方で、軽井沢は西村家にとって特別な意味を持っています。伊作が文化学院の設立を決めたのは軽井沢であり、1920年代には軽井沢に住み始め、1930年に土地を購入し、家族の為にコテージをいくつも建てました。以降西村家にとって軽井沢の家は、現在も海外に散らばる家族をも含め、一族の集いの場所となっています。そんな家族の歴史、子供たちの生き方を当時の貴重な写真、絵画などで紹介します。同時に、新宮での初期の伊作の絵画を展示致します。



西村ファミリー 9人の子供たち 1933年 五反田池田山自邸にて



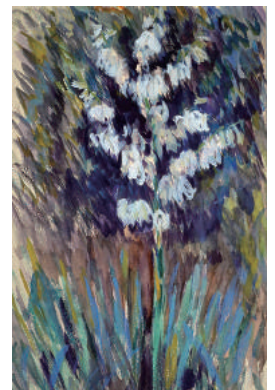
軽井沢の庭に集う9人の姉弟 1972年



西村ファミリー 1934年 軽井沢



軽井沢の家とコテージ 油彩 西村伊作画 1955年



白い花 水彩

西村伊作旅行日記（9）

1909(明治42)年5月23日～26日

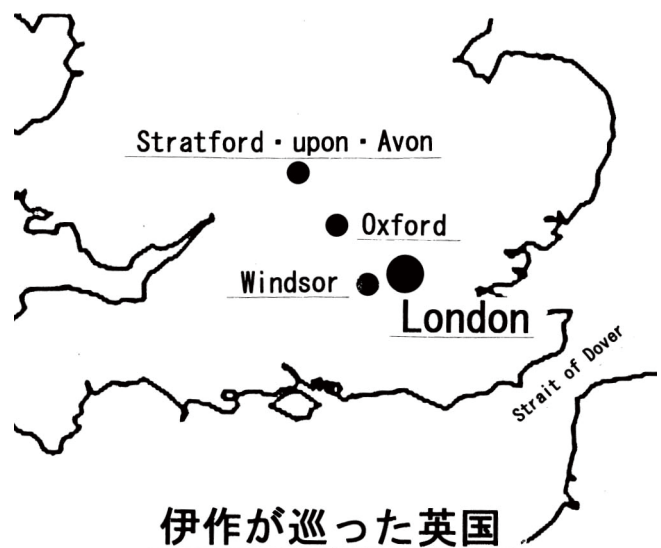
ロンドンからストラトフォード・アポン・エイヴオン、オックスフォード

伊作は、パリを経てロンドンに到着。そこで7泊(6泊までは日記8に掲載)の後、ストラトフォード・アポン・エイヴオンと、オックスフォードを2泊で巡った。

この日記には、ストラトフォードへ行く途中などで、英国の田園風景の美しさを大いに気に入ったことが記されている。また、5月25日には学校を三校見て、そのうち二校は内部まで案内されて見学したことも記され注目される。伊作は1921年、文化学院を創立するが、この当時から既に学校に強い興味を持っていたことがわかる。学校を訪れたことは彼の自伝「我に益あり」の「世界一周の旅」の章には記していない。

一方「益あり」に記しているが、本日記に記されていないこともある。それは、ロンドンに帰る汽車の中で、二人の娘と父親の三人連れと話す中で、伊作は、英国の中流家庭を見てみたいと云ったら、その家庭に招待されたことである。伊作は、英国人の家庭を見て非常に興味を覚えた、と自伝に記しているが、このことは本日記には全く記されていない。

本日記は、伊作の唯一残された日記で、自身の旅行メモ的なものである。それ故、そのままでは極めて読みづらく、筆者が句読点を挿入した上で清書した。それ以外は原文のままで何も手を加えていない。



●1909(明治42)年5月24日

汽車でセキスピアの村ストラトフォード オン アボンを見物に来る。別にセキスピアが有難いわけでなければも英国の田舎を見るためである。こゝも甚気に入った。小さい町である。アボンの川は美しく川端に小さな公園がありセキスピアの記念館が建つて居る。古風の木造の家もある。セキスピアの家の方に□□館がある。木造の風雅な家で家の中にセキスピアの書いたものの中にある。花を花瓶に生けてこれは何と名をかいてある。ストラトフォードの前にワー井ツクヘ一寸よつて町を見、城のそばへ行つて見た。しづかなまちであつた。汽車の窓から見る田園は今ホーソンの花ざかり。たんぼぼの白い□□やバターカップの黄い花が野をかざり、牛や羊がのんきにあそんで居る。ヒバリがないて居る。むぎが風にゆれて波を立てて居る。妙ちきりんなかがしも見へる。百姓家といふのは皆綺麗な家で日本の様に小屋的の家が多く見へぬ。英国の百姓は皆上等の位置に居るらしく、それ故どんな田舎でも家が立派で文明の□が□込んで居る。ワシントンアービングの宿つた宿へとまる。古風な宿だ。

●5月25日

セキスピアの生れたと云ふ家を見る。昔からの家を建ましたものである。甚質素なもので風雅である。階下の床は石で畳んであり、二階の床など素末な木である。戸など実に妙なものであつた。

それから彼の妻アンナハサウエイの家を見た。これは前のセキスピヤの家よりも風雅な家である。

番人は若い女で其家にすみ、本を読んで居た。此家に来る途中で□古い家の貸家札のはつてあるのをまどからながめて居つたら、老女が通りかかつて其女と話し其女が彼の家なるテープストリー スチュヂオと云う織物工場へ来て見よ云ふ故ついで行つて中を見た。茶をのめと云ふたが辞して去った。

二つの小学校を見た。一つの学校では女の教師が中を見よと案内をし、生徒の製作品などを見せた。

も一つの学校では丁度ひる休みで先生は御はんに帰つて居るので、生徒の一番大きいのが（十二才）中を見よと云ふて色々案内してくれた。ガラスの戸棚の中の化石やら動植物の標本のあやしいやつを誇り顔に見せて居た。

少しも外国人に対しておそれず心易く話す。可愛い。

セキスピアの墓のある寺を見た。入口にはライムの□□が刻んで居て、それが□が青くこけむして居てきれいであつた。それからセキスピアの習った学校と云ふのを見た。今でも学校に使つて居る。

古い古い暗い黒い家であるが、生徒は其中で勉強するのを誇りとして居るのであろう。

二時十五分発の汽車でオックスホード迄来た。此辺の汽車は込入つて居つてスツラトフォード オン アボンからオックスホード迄来るのに長い事かかつた。おそい汽車へ乗つたのである。汽車の中に女性の様な男が乗つて居て声高に話しをして居たがなんだか分からなんだ。オックスホードでは第一番の宿にとまつた。夜はダンスなどあるけれど私はドレスなどを着て居ない故食堂へも出なんだ。そのかわり七時半頃から九時頃まで（九時迄明るい）町を見て歩いた。諸大学の建物どれがどれかは判らねどかけ足であるきまはつた。町にうろついて居る学生数は□に□しい。或る者をひつつかまへて何か尋ねる。あまり色々尋ねる故、彼らは妙な顔をしてこそこそ笑つて居た。料理屋に入つてチョコレートと菓子を食べ夕食のかわりとした。学生が主に入つて居る、一人の若者を又とらへていろいろと聞きたづねた。学生は九時以降は出られないと云ふ。九時になると皆帰つてしまつた。

九時以降外出する学生は、背中に妙な黒い切れをぶらさげて居る。

●5月26日

朝またオックスホードの町を見て歩いた。雨がふる。汽車でロンドンへ帰る。やはり天気が悪い。・・・・・・・・

（西山修司）

2018年度 ルヴァン美術館のご案内

6月10日(日)～11月4日(日) 10:00～17:00

水曜日休館(7月15日～9月15日は無休)

サマーコンサート

- | | |
|--|----------|
| ① 近藤和花 ピアノコンサート (第11回) | 8月 5日(日) |
| ② ボサノバ/サパトス (木村 純・三四郎) (第15回) | 8月11日(土) |
| ③ アンサンブル・モンソロ Ensemble MONSOLO
本田早美花(V)・エマニュエル・クリスチャン(P) | 8月12日(日) |
| ④ 寺田悦子・渡邊規久雄/四手連弾ピアノコンサート | 8月25日(土) |
| ⑤ ヴァイオリン、チェロ、ピアノのトリオ室内楽
ポーマン・ベアンテ(C)、矢崎さくら(P) イスラエリヤン・カレン(V) | 9月 1日(土) |
| ⑥ 一噌幸弘 和の笛・洋の笛 音楽の旅 (第7回)
一噌幸弘(能管・篠笛他)/高木潤一(ギター)/勝海登(シテ方)/吉見征樹(タブラ) | 9月 8日(土) |

①⑤ 開場 17:00 開演 17:30 ②④ 開場 18:00 開演 18:30

③⑥ 開場 16:30 開演 17:00

料金:3,000円(中学生以下1,500円、幼児無料)

②は先着30人(1,800円)でビュッフェあり、要予約

④ビュッフェ込みで大人6,000円、子供3,000円、コンサートのみは大人4,000円、子供2,000円

④⑤⑥ 軽井沢ペット福祉協会のチャリティーコンサートとして、収益の一部を協会に寄附します。

※コンサート開催日のみ、美術館は16:00に閉館致させていただきます。

春のアートフェスティバル

子どもたちの作品展示 10:00～17:00 入場無料 4月29日(日)～5月6日(日)

ローズフェスティバル

10:00～17:00 6月16日(土)～7月1日(日)

カフェ割引:期間中に美術館ご入館者様

フラワーアレンジメント

講師:捧 泉美 1,000円 10:00～16:00 7月29日(日)

木工教室

講師:永島秀之 1,000円 10:00～16:00 8月11日(日)～15日(水)

トークショー

「軽井沢の思い出」クワ・西村・バル、羽仁進、ヘンリー玉置 14:00～ 8月 4日(土)

八知の会《八知先生を偲ぶ会》

7月 7日(土)

秋のアートフェスティバル

スケッチ大会 10:00～17:00 10月7日(日)

ツールペイント体験教室 講師:中嶋祐子 1,000円 10:00～16:00

☆カフェテラス Café Le Vent、ミュージアムショップ Le Ventは、常時ご利用いただけます。

ルヴァン美術館:〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢957-10 Tel.:0267-46-1911 Fax.:0267-46-1910
東京事務所:〒107-0052 港区赤坂9-6-14 Tel. & Fax.:03-3401-8896 <http://www.levent.or.jp>